

広げよう！優良実践の輪！

～平成30年度 優良実践校の取組～

取組 7

規範意識の向上と学びの場の推進

津山市立高野小学校

1 はじめに

本校は数年前まで、生徒指導に力のある学校で、教職員が一丸となつて学習環境の改善を図ってきました。「規範意識の向上と学び合いの推進」を指導の重点に掲げ、具体的な取組を示して課題を解決していこうと実践を重ねてきました。

2 めざす子ども像の現実化

(1) よく聴き自分で考える子どもで聴く、心で聴くことをねらいとし、基本的なことですが日頃から話す人の方に体を向けて、反応(頷く等)しながら聴く習慣をつけています。全校児童が集まる集会でも静かに集合し、集中して話を聴くことができるようになってきました。

(2) 話し合い、力を合わせる子
授業中に自分の考えを書いたり説明したりする時間を確保し、ペアやグループで話し合うことで更に個人の思考を深めています。会話することはお互いに理解し合うということにも繋がっています。

(3) 夢や希望に向かって最後までやり抜く子

最後まで頑張る力は、友達や教師、保護者等に認められ励まされ、「自分を理解してくれている」と感じることで生まれるものだと思います。全校的

な取組を意図的に仕組み、できたら力強く褒め自己有用感を高める実践を行っています。

3 具体的な取組

【表彰1】毎月児童朝礼で表彰

①歌声ナンバーワン

②くつそろえナンバーワン

③話の聴き方ナンバーワン

④一列で登校できたでしょう

⑤自主学习ナンバーワン

【表彰2】放送等で表彰

①あいさつ運動

②プロ掃除士

4 おわりに

学びを支えるには規範意識の向上が不可欠であり、安心して学ぶことのできる環境を整えることが重要です。本校では、目指す子ども像を児童に示し、児童自ら経過と結果がわかる具体的な取組を実践することで規範意識を高めました。一つ一つの取組を頑張ろうとする意欲が高まり、実行し称揚されることで更なる自信と自己有用感の高まりに繋がっています。また、高学年がよい見本になることで、その良き伝統が脈々と高野小学校に受け継がれていくという好循環が回り始めたと感じています。

ます。
年々若い教師が増加する中で、若さが未熟さとしてではなく、元氣や勢いといった良い方向に表れており、その隙間をベテラン勢が補うことで、全職員で学力向上に取り組んでいます。これからも一人一人の児童が秘めている可能性が開くことを信じて学び合いを推進します。

(校長 井上新子)

「学校教育目標」
自ら考え ともに伸びていく 心豊かな子どもを育てる

「目指す子ども像」

- よく聴き、自分で考える子
- 話し合い、力を合わせる子
- 夢や目標に向かって、最後までやり抜く子

「指導の重点」
規範意識の向上と学び合いの推進

- ① 進んであいさつ・歌声の響く学校
- ② チャイムスタート
- ③ だまってそうじ
- ④ 目で聞く(聞き方・姿勢・立腰)




11月歌声チャンピオン(全員)